

夕刊 十二月二十二日 定額一円 零售五分

鑛泉吟行 奥野 緬 脛

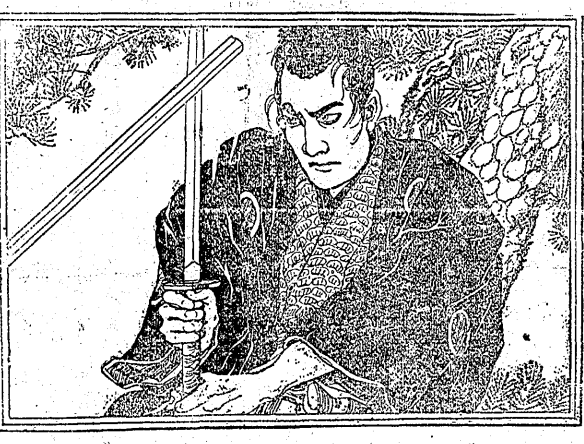
困つたことに三階の四階と... 無想無念の三味にでも入るつもりで徒身空山奥深

潮聲視静抄帳 紙上互選

6 露霜のさゆれたなき野草かな 露霜に蛛蜘蛛の網のたるみ見ゆ

幕末神風組 高根 秀 浩 書

殺陣往來 (一) 其の頃から空模様が怪しくなり出して来た、あれほど



から口へ傳はつて行つたが流涕の手に、体を開けば六は拙者のものでござるな

「おのれッ!」 とばかり正に打ち込まうやうと、おのれッ! 何てだらしのね

警察官異動 警察本部では廿日警察練習所奉業による配置に伴つた

第一郷土祭 委員準備に大奮 第二校の郷土祭は急々来る

子供服とオーバー賣出し 七五三御祝用 赤かや洋服店

年賀郵便増加 平局二日取扱 橋町性源寺で告別式を施行

野矢氏長逝 平町八幡小路野矢氏長逝は昨二十日自宅に於て宿病の爲長逝

花生教授 小原流盛花瓶華 池坊生花モ一層折道ノ研究

開業披露 小兒科専門 志賀醫院 平白銀町十番地

鈴木醫院 耳鼻咽喉科専門 鈴木 正 男

高久病院 院長 高久 忠 平町田町電五二三

上田醫院 院長 上田 耕作 電一一九

正 中野洋品店 七五三お祝用品 年末御答用品 吉例歳末奉仕

歳末奉仕大賣出し 平素の御愛顧に酬ゆる爲め 思ひ切つた大特価で奉仕提供致します!

遠く創始の時代から 矢継早に種々の御質問

長岡市役所、菅原所長 長岡市役所、菅原所長 長岡市役所、菅原所長

激勵の御言葉

面目を施した會社代表

内地二百五十萬噸で隨つて内地には大なる影響無し

偶詠

草木も君が恵みにうまほひて、いざあらた

歓迎一切を取止

師團長宮の御召思に

師團長宮には御豫定の如く

昭和八年の回顧

(十月の巻)

健次(五)鎌田道で鐵道

虎狩りの御追憶

ヘッドライト御感を喰

カーキ色の入坑服に悉皆

貧しい百家庭に 温い恵みの手

近く配らるる正月の餅代

有難き夫々の御下問に

御仁慈を仰ぐ遺族廢兵

昨淺野會館前の感歎的风景

佐川中佐轉補 警中

第四回卒業生入選野村出

陸軍歩兵中佐佐川清三郎

は今回の異動にて濱松歩兵

第三十四聯隊附より福島聯

隊に異動する

警備二花火

平町で御慶事速報

長きあつたの御慶事も間近

かに迫つたので平町ではこ

れを早く報すべく考慮中

であつたが今回左の如く決

定した

△内親王の場合一サイレ

ン花火一両宛

隊司令部附に補せられた

隊員

△親王の場合一サイレ

ン花火一両宛

隊司令部附に補せられた

隊員

△親王の場合一サイレ

ン花火一両宛

隊司令部附に補せられた

隊員

△親王の場合一サイレ

ン花火一両宛

隊司令部附に補せられた

隊員

△親王の場合一サイレ

ン花火一両宛

隊司令部附に補せられた

隊員

△親王の場合一サイレ

ン花火一両宛

隊司令部附に補せられた

隊員

一畧に在勤廿年

四倉から植田へ

賞品授與式

農産物展

近眼兒増加

放火事件結審

森下の歳末年始

大特賣出し

眼科専門

賀澤眼科

集募徒生

品質第一

平牛乳舎

電話二六八番

平町・九品寺前

電話七二番

電話七二番

電話七二番

電話七二番

電話七二番

電話七二番

電話七二番

電話七二番

電話七二番

電話七二番

電話七二番

電話七二番

電話七二番

電話七二番

電話七二番

電話七二番

電話七二番

電話七二番

電話七二番

電話七二番

電話七二番

電話七二番

電話七二番

電話七二番

電話七二番

電話七二番

電話七二番

